

オーディション説明会の際にいただいた質問について、Q&A形式でご紹介します。
その他、応募に際してご質問があれば、info@kac.or.jp まで「KACPAP 不労社オーディションについて」ご連絡ください（回答には数日お時間をいただきます）。

（2025年3月4日更新）

京都芸術センター

Q：オーディション内容はどんな内容になりますか？

A：面接のような形式ではなく、時間帯に分かれてのグループワークを基本とします。本番で使用するテキストを用いて、集団創作のシミュレーションを行いたいと考えています。一方的に審査するのではなく、劇団として大事にしていることを共有しながら、双方にとって有意義な時間になるよう努めます。

Q：（兼業が禁じられているなど）何らかの事情により報酬が受け取れない場合も、出演できますか？

A：可能です。ただし、リハーサルおよび本番について、報酬を受け取ってご出演いただく方と同様の責任感を持って取り組んでいただけることを前提としています。もし懸案事項があれば、申し込み時もしくはオーディション参加時に、ご相談ください。

Q：演技経験がありませんが、オーディションは参加できますか？

A：ご応募は可能です。応募多数の場合は書類選考がありますが、ぜひご応募ください。

Q：8月22日～24日に、拘束日程がありますか？

A：本番を予定している22日から24日は、終日対応いただけるようにご準備ください（日2回公演の可能性もあります）。

また、本番日程を、相談の上伸縮する場合があります（1日程度）。その際は個別にご相談いたします。

本番前日（予定）の23日は、ドレスリハーサル（ゲネプロ）の可能性があるため、出席いただけるようご準備いただきたいです。

本設営は8月18日以降を予定しています。この週は場当たりが入る可能性がありますので、相談の上スケジュールを調整いただきたいです。

Q：稽古はどのようなスケジュールになりますか？

A：リハーサルは6月以降を予定しています。また週末（土日）の全体稽古が中心になります。詳細なスケジュールは相談に応じますが、週末のリハーサルはできる限り参加いただきたいです。

上記のほかに、初めてご一緒する方も多くなると思うので、平日に、一部キャストの部分稽

古の可能性もあります。

Q：想定される役柄や、求められるスキル

A：本作は複数の断片的なシーンの連続で構成されており、戯曲に記載されている登場人物は「立体駐車場の混雑を回避して来た男」「月に一度の美容院に来た女」「つけ麺に挑戦する男」「自動車ショー司会の女」「西部の荒くれ者たち」「碁を打つ翁たち」「未来のコンセプトカーたち」「ウグイス嬢」「スーパーカートリオ」「カルロスポンセ」「小林旭」「バズライトイヤー」「駐車場発券機の声」etc... と多岐に渡ります。ついては、ひとりの俳優がひとつの役のみを演じる以外の可能性（兼役や、複数人での一役をシェアした演出、アンサンブル、クロスなど）が、多分に含まれます。俳優の個性や特性を踏まえて構成する演出方針のため、どのような方と出会えるかによってキャスティングの方向や可能性は大きく変わりますので、オーディション後に出演者の人数や役柄は調整していきたいと考えています。求められるスキルとして具体的な条件はありませんが、演出と俳優が互いに意見やアイデアを交わしながらリハーサルを進めたいので、集団創作におけるコミュニケーションの取り方や、クリエイションに対する能動的な姿勢は重視したいです。

●メッセージ

劇団として初めてのオーディションの機会となるので、どのような場作りが適切か、探り探りにはなりますが、「選ぶ」という責任を引き受けつつ、こちらの態度や姿勢も見られるつもりで臨む所存です。

出演者の枠の都合もあり、当然今回の公演に希望者全員が出演することは難しいですが、このオーディションを通じて、長期的な視点で協働する可能性を探る機会となればと考えているので、劇団不労社の作品や活動に興味がある方は是非ご参加いただけたらと思います。京都芸術センターの25周年を彩る公演として、「これまで」と「これから」がクロスオーバーし、界隈の垣根を越えて様々な出自の方と共に作品づくりを行いたいと考えているので、一人でも多くのご応募をお待ちしています。

（西田悠哉）

京都芸術センターとしても、25周年という節目の年の公演であるとともに、これからの京都や、京都を含む関西、日本の演劇界で活躍していこうという方に、たくさん出会える機会になればと期待しています。実際にご出演いただける方は数に限りがありますが、さまざまなキャリアの方にお越しいただければ嬉しく思います。

（京都芸術センター プログラムディレクター 谷）